

平成20年度 国立赤城青少年交流の家企画事業
「AAP(あかぎアドベンチャープログラム)ステップアップセミナー」
～あなたのファシリテーション力をアップさせます！～

< 実 施 報 告 書 >

国立赤城青少年交流の家

期 日 ・ 場 所 : 平成20年10月24日(金)～平成20年10月26日(日)
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
〒371-0101 群馬県勢多郡富士見村大字赤城山27

事 業 名 : AAP(あかぎアドベンチャープログラム)ステップアップセミナー
～あなたのファシリテーション力をアップさせます！～

趣 旨 : 青少年教育に関わる指導者に、コミュニケーション能力や人間関係能力を高めるのに効果的な体験学習法であるPAのファシリテーションの仕方について、さらにスキルアップする機会とPAを活用する方法等を共有化する場を提供することで、青少年の「心の教育」の推進に資する。

事業の特色 : ファシリテーターの資質向上を目指す事業のため、プロジェクトアドベンチャージャパンから高度な技術を持った講師を依頼する。また、昼間はグループワークや参加者同士がファシリテートしあい、そのことについてのフィードバックを行い、さらなるステップアップを目指す。講師にそれぞれのグループのアドバイザーとしてグループについてもらい、適宜アドバイスをいただく。また、講義により、理論的な学習も行う。その他、情報交換会を開催し、指導者同士の横のつながりを持つきっかけとなる場を提供することで、今後、ネットワークを通じて情報交換が盛んになり、それぞれの地域・教育現場でのPAを活用した教育活動が盛んになることが期待できる。

募 集 人 員 : 教職員・青少年教育施設職員・青少年団体指導者・青少年の研修担当者・企業研修担当者・地域リーダー等で、PAを活用し、ファシリテーション経験のある指導者 24名

参 加 者 : 17名

参加者地域 : 栃木県 : 1名、群馬県 : 4名、埼玉県 : 2名、千葉県 : 1名、東京都 : 3名、
神奈川県 : 1名、新潟県 : 1名、長野県 : 2名、静岡県 : 1名、愛知県 : 1名

企画のポイント : 当施設ではあかぎアドベンチャープログラムの中のPAに関して、年間3本の企画事業を実施している。「体験セミナー」(初心者向け)、「指導に生きる」(中級者向け)、「ステップアップセミナー」(上級者向け=指導者向け)で、今回はPAを使って教育活動を行っている指導者の更なるスキルアップと支援事業の外部研修指導員の養成・発掘が目的であった。指導者のスキルアップを図ることにより、青少年問題の喫緊の課題である青少年に人間関係能力を向上させることが期待できる。さらに、参加者が自分の教育現場の地域の核になり、こうした教育方法を広めていくことが期待できる。

広報のポイント : 広報は、参加対象がPAを使って教育活動をしている指導者に限られるので、不特定多数に広報をかけるのではなく、あらかじめ参加が考えられる人や機関に向けて広報をした。例えば、過去のPA関連の企画事業の参加者や当施設のPAの外部研修指導員、PAを使っている公立青少年施設等である。また、企画担当者の個人的な知り合いや不特定多数が対象ではあるが、報道機関にも広報を依頼した。

プログラム展開 : < 10月24日(金) 1日目 >	< 10月25日(土) 2日目 >
13:00 受付	6:30 起床
13:30 開講式	7:30 朝食
14:00 講義・アイスブレイク・ニーズアセスメント等	9:00 プログラム (実習)
19:00 プログラム (実習)	12:00 昼食
22:30 就寝準備	13:00 プログラム (実習)
	18:00 移動・入浴
	20:00 交流会 (夕食)
< 10月26日(日) 3日目 >	21:30 フリータイム
6:30 起床	22:30 就寝準備
7:30 朝食	
9:00 プログラム	
12:00 昼食	
13:00 プログラム・指導講評	
15:00 閉講式	

成 果 : ○参加者自らがファシリテーターを経験し、参加者からのフィードバックや講師からの指導とフィードバックを受けることを通して、ファシリテーション力をアップすることができた。

○参加者がいろいろなアクティビティを体験し、アクティビティのレポーターが増えたことで、ニーズにあったファシリテーションができるようになった。

○参加者が講師の的確な指摘や裏付けのある理論に触れ、より自信を持ってファシリテーションできるようになった。

今後の課題 : プログラムや運営上の課題は特にないが、昨年度の課題の中で、「よりスキルアップを目指すなら、参加者を募集し受付をする段階で、ファシリテーションについて、どのくらいの経験値かをより厳密に見ていかなくてはならないだろう。・・・ただ、そうするとハードルが高くなり、参加希望者は減るだろう。・・・。」と書いたが、その通りになってしまった。参加者確保が大きな課題ではあるが、上級者向けの「スキルアップセミナー」という事業の質を落とさないためにも前述の参加者応募基準は下げた方がいいと思う。そこで、広報の仕方をさらに工夫し、参加者の拡大を図らなければならないと考える。



イタリアンゴルフで移動中



ファシリテーション実習
「オールアボード」



ファシリテーション実習
「トラストフォール」